

消防団を支える企業の取組をご紹介します！

セコム株式会社 東広島支社

VOL.1

会社概要

1962年、日本初の警備保障会社として創業。セキュリティ事業を中心に、防災事業、メディカル事業、保険事業、地理空間情報サービス事業、BPO・ICT事業を展開する。東広島支社は、地域密着型の警備・セキュリティサービスを提供している。



信頼される安心を、社会へ。

SECOM

(右側) 東広島支社長
井上 崇 さん

(左側) 消防顧問
尾山 浩仁 さん

◇ 消防団協力事業所の取組 ◇

■ 協力事業所になったきっかけ、登録後の変化

2016年8月、地域防災力への寄与のため、消防団に加入する社員をバックアップしていくことが、社の方針として出されました。これを受け、東広島支社も協力事業所に登録し、事業所全体で活動を行う社員を快く送り出す共通認識を持ち、活動社員が適切に休暇制度を取得できる土壌を形成しました。

現在、県内で社員300名中11名、東広島支社で社員20名中3名が、消防団員として活躍しています。

■ 企業理念との関連

セキュリティで培った安全のネットワークをベースに、安心して便利で、快適なサービスやシステムをトータルで提供する、新しい社会システムづくりに取り組んでいます。

地震や豪雨などさまざまな広域災害の被災地において、行政やボランティア団体とも連携し、セコムグループの技術力・ノウハウを活かした復旧・復興支援に取り組んでいます。

■ 社内での災害を意識した取組

災害時の安否確認システムを導入し、定期的に訓練を実施しています。また、災害時連絡カードを社員が常に携帯しているほか、全社員に飲料水や非常食、ヘルメット、手袋等の防災備蓄品を配付し、災害がいつ発生しても対応できるよう取組んでいます。

■ 研修等の機会

新規採用の警備員を対象とした研修において、心肺蘇生法およびAEDの使用方法に関する講習を実施しています。また、救急救命士の資格を持つ警備員も活躍しています。

■ 社内の消防団員に期待する役割

全国的に団員数の減少傾向が続いている中、少しでも状況を改善し、地域の災害対応力を高めていくために、消防団に加入する社員をバックアップし、地域防災力の充実・強化に寄与しています。

また、消防団活動で得た知識を仕事や趣味に生かして、活躍してもらいたいと考えています。

◇ 消防団員の活動 ◇

東広島市消防団 八本松分団班長

向井 孝範 さん



■ 消防団に入ったきっかけ

入団時は55歳。当時、営業で消防局に出入りしており、普段から消防を身近に感じていました。会社のバックアップがあったことや、活動内容が業務に通じる点もあったこと、さらに、定年が近づくにつれて、会社や地域に貢献したい気持ちが大きくなっていったこともありました。

年齢のことが気になりましたが、消防団の方から「年齢は関係ないから大丈夫！」と言っていたので、入団することにしました。

■ 普段の活動

消防出初式への参加や、年末の夜回り、車両や装備品の点検、使用訓練、行方不明者の捜索、災害出動など。訓練がある時は、分団長からメールで連絡があります。訓練の頻度は月に1回1時間程度。

■ 消防団に入って良かった点

最も良かったのは、地域貢献ができることです。

また、消防団の活動や、業務上の消防署との関わりで得た知識を生かして、地域の方々にアドバイス等ができるので、入団して良かったと感じています。

さらに、住んでいる団地の自治会で、自主防災の担当になったので、市や消防と連携をとって、ハザードマップの作成に携わることができたことは良い経験でした。

■ 入団を考えている方に向けて一言！

ぜひ、消防団へご入団ください！

地域の方々とコミュニケーションをとる機会も増え、仕事をする上でも、「消防団活動をしていて良かった」と感じる人が多いです。消防団員同士の関係性も深まることで、コミュニケーションの場が増え、人生が豊かになったと感じます。

地域のコミュニケーションの中でも、「防災」は重要。まずは迷わず一歩踏み出してみてください！

ポンプ車操法訓練風景



広島県消防団入団案内
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/thstd/shimachishoboda.html>

